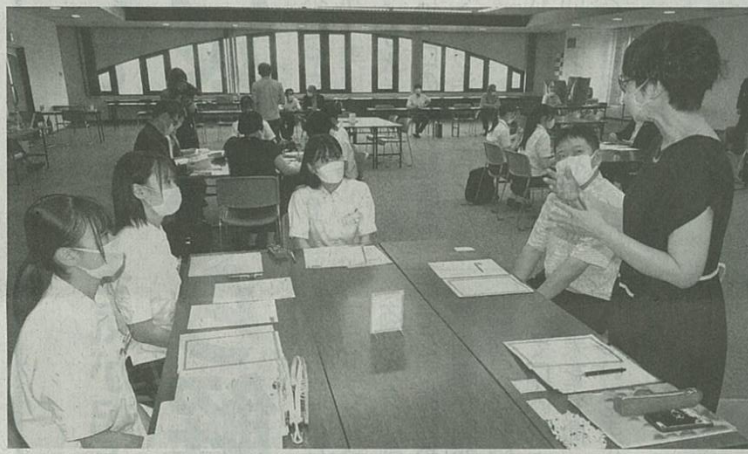


# 企業の魅力調査、発信

## 女子高生、独自の目線で

### 八戸

青森県三八地域県民局は26日、女子高校生が地元企業の魅力を調査、発信する「38ライフワークプロジェクト」をスタートさせた。八戸市のデーリー東北新聞社でキックオフミーティングが行われ、高校生が企業の事業内容などに理解を深めた。



企業の担当者から説明を受けて仕事への理解を深める生徒

「査・発信・共有事業」として実施し、今年で3年目。

本年度は5高校から24人が参加し、16企業が協力。生徒は8グループに分かれて各企業を訪問。見学や社員へ通して仕事や地域の魅力をレポートにまとめ、e-book（電子書籍）などで発信する。来年1月に活動成果を発表する予定。

この日は企業の担当者や生徒が顔合わせ。自己紹介や会社の概要などの説明を受けた。生徒は「仕事のやりがい」「研修はどんなことをするのか」と熱心に質問した。

県立八戸西高2年の小向あかりさん（16）は「女性や障害者に優しい企業の取り組みや魅力を紹介したい」と意気込み、八戸学院光星高3年の内城美咲さん（17）は「取材で学んだことを伝えて、地元の良さを知ってほしい」と話した。（柴田佳弥）